

主なニュース

- ②面 牛込台西北地区・新防火規制を導入へ
- ③面 漱石山房は9月24日オープン
- ④面 広尾病院は現地再整備へ
- ⑤面 熊野神社、9月16～17日に祭礼
- ⑥面 赤城神社が例大祭(9月16～17日)

ゴールデン街で行われた初期消火訓練(四谷消防署提供)



外国人の集まる歌舞伎町へ

レトロな昭和の街並みを残し外国人も多く訪れているのが歌舞伎町ゴールデン街。一方で0.8割の敷地の中に約280店が軒を運んでいる老朽木造建物の密集地だ。昨年4月の3棟の火災を契機に、現在の街並みを残しつつ、防災力を高めようと「新宿ゴールデン街まちづくり協議会」が今年1月に設立した。協議会には地区内の地権者で構成される三光事業組合、花園街商業協賛組合、店子で構成される新宿三光商店街振興組合、新宿ゴールデン街商業組合の4団体が参加。パブル期以降、大規模再開発が現在の街並みを保存するかで揺れてきたゴールデン街で地権者・店子の全員参加型は画期的だ。今年度中に「まちの将来像」案をまとめる。来年度以降は「建て替えのしやすい環境づくり」など、開発型でない修復型のまちづくりに取り組む。

大阪 法善寺

京都 祇園南

などエリアで

「大火災」がきっかけで、街づくり、機運

歌舞伎町ゴールデン街(昨年8月時)。街は約0.8割の敷地。パブル期には地上げで約300店舗(昨年10月)撤去が進み約400店舗に増えた。最近では欧米客を中心に外国人客も増え、店舗によって6割が外国人観光客で占める店もある。

このゴールデン街ではパブル期以降、数度、大規模再開発事業を断念する動きがあった。10年前にはゴールデン街南側と靖国通りに至るエリアの地権者が歌舞伎町二丁目東地区まちづくり協議会を立ち上げ大規模再開発を断念する動きもあったが不発に終わった。地権者が複雑なことに加え、ゴールデン街の情緒を残せようと店子や常連客が反発したためだ。

このゴールデン街ではパブル期以降、数度、大規模再開発事業を断念する動きがあった。10年前にはゴールデン街南側と靖国通りに至るエリアの地権者が歌舞伎町二丁目東地区まちづくり協議会を立ち上げ大規模再開発を断念する動きもあったが不発に終わった。地権者が複雑なことに加え、ゴールデン街の情緒を残せようと店子や常連客が反発したためだ。

変圧器増やすには電柱が必要

東京電力側 ケーブル負担はできず

ゴールデン街では電気を設置するにも、道路や配線のケーブル自体が劣化していることに加え、電柱のない場所ではケーブルの更新をどう図るかも課題となっている。そこでまちづくり協会で独自に配線を敷いておき、昨年4月の火災では電線が断線した状態を伝って延焼が広がる状況、東京電力が連携して配線するにも、道路や配線のケーブル自体が劣化していることに加え、電柱のない場所ではケーブルの更新をどう図るかも課題となっている。

ゴールデン街では電気を設置するにも、道路や配線のケーブル自体が劣化していることに加え、電柱のない場所ではケーブルの更新をどう図るかも課題となっている。そこでまちづくり協会で独自に配線を敷いておき、昨年4月の火災では電線が断線した状態を伝って延焼が広がる状況、東京電力が連携して配線するにも、道路や配線のケーブル自体が劣化していることに加え、電柱のない場所ではケーブルの更新をどう図るかも課題となっている。



であるレトロな街並みを残しつつ、防災力の向上を図るための取り組みを進めていく。

「今年度」「将来像」案をまとめる。来年度以降は「建て替えのしやすい環境づくり」など、開発型でない修復型のまちづくりに取り組む。

「大火災」がきっかけで、街づくり、機運

「大火災」がきっかけで、街づくり、機運

「大火災」がきっかけで、街づくり、機運

共同開発一歩進む
Shinjuku 街づくり

新宿ゴールデン街と同様の課題を抱えているエリアに新宿駅西口「ゴールデン街」の取り組みが注目を集めている。思い出さずとも、こちらは大規模再開発事業の動きが途絶える区画はみえていない。

一方、共同建て替えが一部で進み、ゴールデン街のように地権者・店子全員参加型の街づくりに取り組むのは難しい。ただ「ゴールデン街」の取り組みは何らかの形でヒントとなる可能性がある」と区側はみている。

「大火災」がきっかけで、街づくり、機運

「大火災」がきっかけで、街づくり、機運

「大火災」がきっかけで、街づくり、機運

秒読み

ミサイルが発射されるかも?と言われた北朝鮮の建国記念日の9日夕刻、私は新宿の雑踏の中にいた。たとえアラートの警報が鳴っても地下街に逃げ込むしか防衛の方法はない。この日、安倍首相も午前中は公邸で過ごし、午後からは都内の私邸に戻った、とある▼翌日の朝刊では、北朝鮮が「国連制裁決議」の行方を見極めるため、「沈黙した」と解説されていた。中国からの原油が止まれば、北朝鮮は3ヶ月もたない」と言われ、原油禁輸こそが北朝鮮には死活問題だ。どうにか中国、ロシアの賛成を得て、国連決議は採択された▼それにしても日本のミサイル迎撃体制はどうなっているのか?ミサイルを大気圏外で撃ち落とせるイージス艦を日本海に配備、陸上ではSM3とPAC3が、イージス艦の撃ち漏らしに備えているという。だが、ミサイルが北海道沖に着弾した時、なぜこれを撃ち落とさなかったのか?日本の防備はこれでは不十分と、トランプさん、何千億円の新しい迎撃システムの購入を日本に求めてきている。まるで北朝鮮の挑発行為に便乗して武器を売るという構図だ▼戦争と言わぬ火遊び、を利用して「トランプビジネス」は危険だ。怖いのは、火遊び、が、偶発戦争に転化するところだ。